

広報かねやま

KANEYAMA

こころを磨く
歌会始

February

2

2024

No. 734

新庄市×金山町

ふるさと納税共通返礼品



▲令和5年12月18日に開催した締結式の様子

新庄市と金山町が「ふるさと納税の共通返礼品に関する自治体間連携協定」を締結しました。これにより、それぞれのふるさと納税返礼品の一部を両市町共通の返礼品として提供できるようになりました。両市町の返礼品の魅力向上と事業者支援のために、今後も連携を深めていきます。

協定締結にあたり、両市町長からご挨拶をいただきました



新庄市長 やましな とものり
山科 朝則



今回の金山町との協定締結により、両市町の特産品やサービスを相互に返礼品として取り扱い、両市町の魅力を一度の寄附で味わっていただくことが可能となりました。これをきっかけに、両市町の産業や観光の活性化に一層力を入れ、さらなる魅力の発信に努めて参りたいと思います。



金山町長 さとう えいじ
佐藤 英司



新庄市と協定締結できましたこと、大変心強く嬉しく思っております。この協定により、両市町の魅力が何倍にもアップした返礼品を、ご寄附いただいた皆様にお送りできるようになりました。今後、両市町の更なる魅力発信及び経済活性化が図られることを期待しております。

共通返礼品をご紹介します

今回の協定締結により、両市町で新たに取り扱いができるようになった返礼品の一部を紹介します。今後も、さまざまな特産品を組み合わせ、両市町の魅力が全国に伝わるように事業を進めていきます。



新庄市で菓子製造を営む「深田菓子舗」[Curio] が、金山町の「ピーナッツ」を使用して開発したお菓子



「食のカコーポレーション」が金山町で生育し、新庄市で加工した「大豆ミート」を使用した返礼品



「マルシャン北欧」の和みロールとピーナッツペーストのセット



「新庄東山焼」と「金山杉のプレート」のセット



「自家焙煎珈琲の店bino」のコーヒーと金山町産乾燥ナラの薪セット



「新庄アーデンゴルフ倶楽部」のゴルフ場利用券と「ホテルシェーネスハイム金山」の宿泊利用券のセット



February
2
2024
No.734

広報かねやま

KANEYAMA

2月行事予定表

5 (月) 心配ごと相談

6 (火) 乳児健診

7 (水) すこやか相談

8 (木) ベビーマッサージ教室

13 (火) 1歳児・2歳児歯科健診

15 (木) 心配ごと相談

17 (土) プレベビーマッサージ教室

21 (水) すこやか相談
読み聞かせ・お話し会

24 (土) マタニティ教室

26 (月) 心配ごと相談
心の健康相談

目次

P3 ふるさと納税共通返礼品

P4 新庄南高金山校模擬議会

P6 まちのわだい

P8 町政NEWS

P10 ほっとクリニック・防災コラム
わたしと金山

P12 お知らせ掲示板

P14 図書室だより・集落支援員通信
東京金山会通信・ぶんげい

P16 わたしの願い

今月の表紙



1月16日、金山小学校で開催された「歌会始」での1枚。自身の心情を素直に表現した歌や情景が思い浮かぶ歌など児童による完成度の高い短歌が披露されました。

教育長室から

学校の働き方改革

働き方改革という言葉をよく耳にします。文部科学省の中央教育審議会では、昨年八月に「教師を取り巻く環境整備について」という緊急提言をまとめました。「今般の改革の目指すべき方向性は、教師のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の是正を図ることで教師の健康を守ることがもとより、教師のウェルビーイングを確保しつつ、高度専門職である教師が新しい知識・技能等を学び続け、子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすることにあります。」昭和から平成にかけて、教師たちは超過勤務もいとわずに、子供たちのためにと課題解決に向けて頑張ってきました。しかし、懸命の努力にもかかわらず、課題は山積するばかりで現在のような状況に至ってしまいました。教師一人当たりの仕事量が多過ぎても、課題に対応することが難しくなっていました。そんな中で働き方改革が叫ばれ、徐々にではありませんが、取組が進められるようになってきました。コロナ禍の三年間を経て、本来の教育活動の在り方はどうあるべきなのか、どうしたら様々な課題を解決していくのか、行政や学校現場での模索が続いてきました。先生たちが心身ともに健康で、環境面でも良好な状態で教育活動に臨むことができれば、多くの課題が解決の方向へ、そして、学校本来の目的である子供たちへのより良い教育へと向かっていくはずですが、これが、働き方改革の目指すものだろうと思います。こうした取組を進めていくためには、前例主義からの脱却が必要です。保護者や町民の皆さんの理解をいただけるよう町教育委員会としても学校側と連携して取組を進めていきたいと思っています。



教育長
須藤 信一

金山町の未来を考える 新庄南高金山校 模擬議会

高校生がまちづくり参政権を有する意義を考えることを目的に、今回で5回目となる新庄南高金山校の生徒と町による模擬議会が12月22日、役場町民ホールを会場に開催されました。三條陸斗議長のもと、6名の高校生議員が、町の課題を的確に捉え、高校生らしいフレッシュな目線で執行部に質問しました。



今田 秀愛 議員（2年）

麻雀などのゲームをとおして高齢者と若者が一緒に楽しむ場を開催することは可能か。また、高齢者がタブレットの使い方を学ぶ時には、私たちがお手伝いをすることは可能か。

町では、令和6年度中に「防災情報タブレット」を原則全戸配付する予定としているが、これは全世帯に一定のデジタル基盤を整備することが不可欠と考えているため。高校生が主体となり、交流することで「デジタルを習得する機会」とモチベーション」が高まり、高齢者の方にタブレットを気軽に活用いただける動機付けになり得る。と考えるため、ぜひ実現に向けてご協力をお願いしたい。今回提案いただいたことは、高校生の皆さんが高齢者の皆さんに「教える場」になるとともに、高齢者の方が持つ知識や経験を「聴く場」としても貴重なものと考ええる。ぜひ主体的な取り組みとして参画いただきたい。



三條 陸斗 議長（2年）



▲模擬議会の様子

外国人向けに日本語教室を開講することは可能か。また、日本語を学びたい外国人に対し支援をすることは可能か。外国人のため「やさしい日本語」による情報発信などを提案。文化の多様性を学ぶため金校生が外国人と交流することに対して支援することは可能か。



齋藤 悠菜 議員（2年）

管内でも、暮らしに役立つ日本語や、基本的な生活用語などの日本語教室を実施している。5年度は約37名が参加しているが金山町からの参加者が1〜2名程度となっており、単独で開講することは難しいと考える。外国人に対しての支援については現状やニーズを確認しながら検討して参りたい。金山町のホームページでは、グルグル翻訳システムを導入し、英語・韓国語・中国語の言語に対応しており、日本語が分からない方でも届出などの知りたい情報が手に入る仕組みとなっている。文化交流について、バスなど今後必要に応じて手配してまいりたい。また、皆さん自身で企画、実施できればより一層の成果や充実感が得られると感じる。



佐藤 信康 議員（1年）

金山校前のバス停に待合所を作ることには可能か。また、自転車安全に通れるように街灯を増設し、道路を補修することは可能か。遠距離通学者のため料金の支援は可能か。

待合所についてスペース的な問題と、バス運行面にも配慮した場合、金山校前バス停付近への設置は難しい。また、街灯の増設については地区単位で要望をいただき町で防犯灯を購入し地区に配布している。まずは区長と相談し検討していきたい。道路について、特に事故につながるような箇所町道の場合は確認し補修を行う。また、国道、県道の場合は道路管理者に依頼したい。山交バスを利用した際の半額補助については既に制度化されており、今後電車を利用している通学を希望される生徒がいる場合はバスと同様に補助を行う方向で検討を進めていきたい。



地主 音南 議員（2年）

町の美しい自然を守るためにどのような政策を検討または実施しているか。全国に先駆けて大型猛禽類のクマタカを守るための条例を制定することは可能か。自然探索ツアーなどを行って町の自然をPRすることは可能か。

美しい自然を守るため、林道の整備や修繕を実施しているほか、人工林は山林所有者が植林、下刈り、間伐、枝打ちなどを行い、自然を守り育てている。条例の制定については、国が定めた「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき対策を講じているため町村レベルで条例を定めているところは少なく、町も同様の状況となっている。クマタカは、森林への依存度が高い猛禽類であるため、各施策を自然環境に配慮しながら行っていきたい。自然探索ツアーについては「遊学の森」が主体となり自然観察・探検教室など森の自然生を観察しながら森の案内人が見所を案内したり、冬季間はスノーレッキングなどを行っている。

空いている建物・スペースを活用し昭和レトロ館を作ることには可能か。また、「瓶コラ・うどん・そば」などの自動販売機やインベーダーゲームなどの設置は可能か？

町内の既存の施設を活用し「昭和レトロ館」とするのは、比較的容易に対応できるものと考えられる。展示する物品等についても旧朴山分校である教育文化資料館や廃校となった小学校に昭和50年代に使用された学校用品や生活用品等が保存されており活用することが可能。一方で、新しい施設を整備するには大変な予算と準備期間が必要となり、今の段階では数年で整備することは難しく、昭和ブームも終わってしまうことも考えられる。自動販売機やゲームの設置について、地域の魅力化につながる素晴らしい提案である。今後の可能性も含め検討していきたい。



星川 怜紅 議員（1年）

町で新しいイベントを作ることには可能か。町で行っているお祭りやイベントの魅力を伝えるためライブ配信することは可能か？

新しいイベントを作ることは、可能と考えられるが、地域の行事を含め多くのイベントを実施している。趣旨が重複せず、適切な時期に設定する必要がある。多くの方に参加していただくような工夫も必要になる。ライブ配信については、参加された方のご好意による動画配信などが確認されている。動画配信を行うことで、祭りやイベントの魅力を町内外に発信できるが、まずは町の魅力を高め、町が発信しているSNSのフォロワー数を増やす手立ての検討が必要になる。場合によっては、多額の経費を要するが人気ユーチューバーなどをお願いした発信も考えられる。更には、皆さん自身がSNSによる金山の情報の発信者になっていただき、ふるさとである金山をPRしていただければと思う。



松田 慎平 議員（2年）

さわやかサロン.....



▲おいとこ踊りを楽しむ参加者の皆さん

12 月20日、町地域福祉支援センターやくし苑で「さわやかサロン クリスマス会」が開催されました。クリスマス会では川崎昭逸さん(内町)による歌の披露や、千川原鶴子さん(小蟬)と星川知子さん(松ノ木)による「おいとこ踊り」、須賀洋子さん(七日町)による踊り「祝杯」などが披露された他くじ引き大会やお茶会が行われました。

さわやかサロン理事長の丹千佳子さん(内町)は「歌や踊りを楽しんでいただき、新たな気持ちで2024年をスタートさせて欲しいとの想いで毎年開催しています。参加者の皆さんに明るい気持ちになってもらえたら嬉しいです」と語ってくれました。

デザインスクール2023.....



地 域との新たな交流のかたち「関係人口」を創出するための事業「カネヤマノジカンデザインスクール」が今年度も開催されました。全4回の講座には「地域づくり」「ローカルデザイン」「サステナブルな暮らし」などに興味をもち、「地域の人と顔が見える関係をもちたい」という方々が全国各地から15名参加しました。町民の皆さんとゆるやかに繋がることで、それぞれが「金山町との自分らしい関わり方」を模索(デザイン)し、金山町との「関わり」を深めていくきっかけづくりとなりました。今後も町では「関係人口」の創出・拡大に向け事業に取り組んでいきます。

七日町「裸みこし」.....



▲お歳灯会場から七日町通りへと繰り出す裸みこし

1 月7日、七日町地区じぞうさま前広場で、お歳灯が開催されました。あわせて、毎年恒例となっている「裸みこし」が威勢の良い掛け声を響き渡らせながら七日町通りを駆け巡りました。みこしの上へ乗り集団を先導した栗田真吾さん(七日町)の他、みこしを担いだのは町内会の若者有志8名。誇らしげな表情と寒さを吹き飛ばすような勇壮な姿が印象的でした。会場では、豊穡の象徴である餅をお天道様に捧げ、1年の幸せを願う縁起物の餅や玉こんにやくなどがふるまわれたほか、抽選会も行われ多くの見物客を楽しませました。

金山小 歌会始.....

1 月16日、金山小学校で第9回目となる歌会始が開催されました。5・6年生の児童71名は11月から新庄龍山短歌会の皆さんに指導を受けながら短歌を詠み、この中から最優秀・優秀作品に選出された8名の児童が短歌を披露しました。5年生の柴田志乃さん(稲沢)は「31音の言葉選びと並べ方が難しかった。今後とも頑張っていきたい」と感想を述べ、新庄龍山短歌会の山田拓代表は「自分の想いを伝えるということは言葉を磨くこと。言葉を磨けば心も磨かれ、人格が形成されていく。今後も短歌に触れよりうろおいのある金山町になってほしい」と講評を述べられました。



▲歌会始には5・6年生の児童71名が参加しました。

▼最優秀賞		バスの中 景色が白く そまつてる	中村利緒さん
冬の空 空見上げれば キラキラと		いつもとちがう ガラスのむこう	
通学路 声をかけられ 内町で		降り続く雪 まつ毛に積もる	長倉増音さん
あいさつしあえば 寒さが消える			松坂葉さん
▼優秀賞		積もる雪 雪かきしても また積もり	岸 旺輔さん
この冬の 山場おとすれ 日々孤独		がんばったのに また降ってきた	柴田結月さん
冬の空 さらさらかがやく オリオン座		悪気乗りかな	堀あんなさん
寒さ忘れて 星観察だ			早坂舞桜さん
花粉症 毎日つらい		くしゃみはでかく 目薬必須	佐藤蓮玖さん
船に乗り 寒ブリ求め 日本海		荒波もまれて びしょぬれの僕	

大谷選手のサイン入りグローブが届きました.....



▲グローブを手にし、笑顔みせる小学生の皆さん

全 国子どもたちに野球を楽しんでもらおうと、メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から日本全国の小学校にグローブの寄贈が発表され、金山小学校にも3つのグローブが寄贈されました。このグローブは右利き用が2つに左利き用が1つで、大谷選手のサインが入っています。1月9日には子どもたちにグローブが披露され、3年生の柴田剣介君は「新しいグローブだから新品の匂いがして少し硬かった。パパとのキャッチボールを思い出した」と嬉しそうに語ってくれました。寄贈されたグローブは3点全てがキャッチボール用として使用される予定です。

沖縄県中部広域圏児童交流団 スキー体験交流会が開催されました



▲初めてのスキーを体験する沖縄県の児童ら

最上広域市町村圏事務組合が行う中部広域圏児童派遣交流事業の一環として、1月11日に沖縄県から児童60名が神室スキー場を訪れ、スキーを通して金山小学校の児童と交流しました。例年になく積雪が少ない中でしたがスキー場スタッフの協力により4年ぶりのスキー交流が無事に開催されました。初めての雪とスキーに悪戦苦闘しながらも楽しんでいた沖縄の児童たち。たっぷり動いた後は夕食交流会で一緒に食事をとり、手作りの名刺を交換してさらに交流を深めました。最後は冬の花火を鑑賞。興奮冷めやらぬ児童らからはアンコールの声が上がっていました。

保護司に柴田さんが新任 関さんに功労賞・栗田さんに表彰状が授与



▲前列左から、柴田久子さん、関喜美子さん、栗田一直さん

柴田久子さん（七日町）が法務大臣の委嘱を受け、保護司に新任されました。任期は令和7年12月10日までの2年間です。また平成13年12月から22年間務められ、この度退任された関喜美子さん（荒屋）には、山形県保護観察所長と山形県保護司会連合会長から功労賞が授与されました。また、栗田一直さん（七日町）には、保護司としての長年の功績が認められ法務大臣から表彰状が授与されました。

保護司は、「社会を明るくする運動」などを通して、犯罪のない社会をつくるための啓発活動や、犯罪や非行をした人の立ち直りを助ける活動を行っています。町では柴田さんを含む5人が保護司として活動しております。

消防団幹部年頭集会 無火災・無災害の1年を祈願



▲農村環境改善センターでの年頭集会に臨んだ消防団幹部の皆さん

1月7日、消防団の班長以上幹部と消防署金山支署長が参加しての「令和6年金山町消防団幹部年頭集会」が金山町農村環境改善センターで開催されました。柴田純一団長の訓示、佐藤町長の挨拶、そして、伊藤智之第5分団長による「防火の誓い」が終わると、消防自動車25台が町内をパレードし、火災予防について周知をうながすとともに、今年1年の無火災を祈念しました。

町民の安全安心のため消防署金山支署の 救急車が新しくなりました



▲阿部支署長から説明を受ける佐藤町長

最上広域消防署金山支署に新たな救急車が納車され12月20日から運用されました。これまでの救急車は10年間運用され、この度の更新により引き続き高度な救急活動が可能となります。金山町内での救急出動は昨年1年間で181件（うち急病が125件）。支署の皆さんの日頃からの訓練により迅速な対応がなされています。

これからも、町民の安全安心のため、新たな救急車とともに活躍を期待します。

新年祝賀会を開催！関係者らが親睦を深めました



▲商工関係者や議員、区長らが出席し行われた新年祝賀会には約100名が出席しました。

1月5日、農村環境改善センターで、新年祝賀会が開催されました。加藤鮎子大臣は災害対応で欠席となりましたが、小松県議会副議長や伊藤県議会議員を始め、100名近い方々が出席しました。主催者の星川広喜最上北部商工会金山支部長からは「町制施行100周年の記念事業が多く予定されている年。商工会としても多くの行事に参加し町全体を盛り上げていきたい」という力強いあいさつがありました。出席者の皆さんは、年始早々の能登半島地震や航空機事故に思いを馳せながらも、100周年を迎える記念イヤーの決意とともに前向きな気持ちで新年を祝いました。



人権擁護委員に神沼幸男さんが 新任されました



▲神沼幸男さん（中央）、西塔清山形地方法務局新庄支局長（右）

神沼幸男さん（七日町）が法務大臣の委嘱を受け、人権擁護委員に新任されました。任期は令和8年12月31日までの3年間です。人権擁護委員は、小中学校で行っている人権の花運動などを通し、啓発活動を行っているほか、法務局や町の改善センターなどで、地域の皆さんの人権相談を受ける活動を行っています。

町では、神沼さんを含む3名が人権擁護委員として活動していますので、ぜひ気軽にお声がけください。

未来の子ども達のために 育英会資金として5万円を寄附



▲左から笹原昌治さん、八鍬稲子さん、佐藤町長、柴田清正さん

12月15日、「喜寿を楽しむ会」を代表し、八鍬稲子さん（山崎）、柴田清正さん（入有屋）、笹原昌治さん（十日町）、が町長室を訪れ、5万円の寄附金を佐藤町長へ手渡ししました。寄附金は金山町育英会奨学金として地域の未来を担う子ども達のため大切に活用させていただきます。喜寿を楽しむ会の皆様、誠にありがとうございます。

ほっとクリニック

「脳のはなし」

山形県立中央病院
脳神経外科 医師 菅井 努

皆さん、こんにちは。金山診療所で月1回診療しています菅井と申します。普段は山形県立中央病院の脳神経外科で脳腫瘍を中心に診療しています。今回は病気の話ではなく脳についてお話したいと思います。脳は人間として最も重要な臓器で頭蓋骨の中に大事に守られています。脳は大きく分けて大脳、小脳、脳幹部にわけられています。呼吸などの人が生きていくための機能を調整している脳幹部、手足の動きなど運動をスムーズに調整する働きの小脳と機能がそれぞれ違います。ヒトとして最も発達したのが大脳です。今回は特に大脳についてお話しします。大脳は左脳と右脳にわけられ更に前頭葉、頭頂葉、側頭葉、後頭葉の4つにわけられています。右利きの大部分の人は左脳で会話をしており、

右の脳は音楽や芸術など感受性に関与していると考えられています。計算は左脳が担当しています。また右手足の運動や感覚は左脳、左手足の運動感覚は右脳と体と反対の脳が担当しています。以前、脳は未知の臓器と考えられていましたが最近は脳についてかなりわかってきています。長い間、人間は脳のほんの一部しか使えていないと考えられていました。しかし最近の研究で人間は脳のかなりの部分を日常の生活で使っていることがわかっています。また、脳の神経細胞は140、200億個と言われ、生まれてから脳の細胞は増えることがなく年齢と共に減少していくと考えられていましたが、最近の研究では脳細胞を増やすことは可能で、規則正しい生活やバランスのとれた食事、十分な睡眠、友人や家族とのコミュニケーション、適度な運動などが脳の神経細胞を増やす効果があることが示されています。最近、認知症の原因となるアルツハイマー病の治療薬が承認されましたが非常に高価で日常の診療に普通に使用できるまでは時間がかかりそうです。脳を鍛え、認知症予防のためにも日常の生活の中で会話や趣味を楽しむ、散歩やダンスなどの有酸素運動を積極的にに行いましょう。雪国の人はよく除雪で運動していると言いますが除雪は作業であって運動ではありません。雪の日は自宅内で歩く、階段の昇り降りをするなど工夫して運動を心がけてください。

ーわたしと金山ー

No.20

林 寛治

金山町役場庁舎(2)

役場庁舎をはじめとする金山町の公共建築更新が周辺自治体よりも10年程度遅くなったのは、郡内建設業者の技術力向上を我慢して待つという、故岸英一元町長の英断によりです。連載前回に載せた木造庁舎の写真の如く、築90年を含む木造旧庁舎で歴代町長および役場職員の皆さんが頑張って執務されていたのを見ております。

1970年代末、役場庁舎設計開始に際して当時の町議会からの要望は、「町有車2台分の車庫・内町側裏手に6台分の車寄せ・町議会関係諸室は地味に小さく・積雪対策」という控え目なものでした。その頃は七日町通りの役場側に力ネホ川崎家住宅も残っておりましたから、

議員の皆さんがその時点での敷地状況で新たな庁舎がどうなるかを想像し難いのは無理もありませんでした。

控え目な要望に対して、設計者としては一層意欲が燃えて、よし！その辺のニューデザインには乗らずに良いものを創るぞ！と気を引き締めました。私は専門誌で見ていたモダン・デザインに憧れてローマで6年近く過ごしたのですが、歴史を積み重ねた技術や風土、土地の伝統に裏付けられたデザインではない限り、単に新しくファッショナブルな建築物は時間が経てば消費され朽ちてゆくものなのだ、新開地の復興アパートなどを見て実感していたからです。

まず積雪対策については、地質調査の結果、大堰に近接して地下水位が高いが地盤は岩石交じりで強固であるとの報告書が得られ、第一方針として積雪荷重を県条例の2倍(2m余)に

設定の上で、自然落雪を想定しました。

役場事務機能については、各課から将来を見据えた人員・希望面積をまとめてもらいました。特に目立ったのは、複数の中小会議室が多めに要望されことです。町長室、助役室等の管理部門は任せるとのことだったので、建築資料の既存庁舎例から面積規模等のみ参考にしました。そのうえで地下1階、地上3階建てをベースに諸機能を明確に配分し、1階に町民に対応すべき事務室部、2階に町長・助役、総務等管理部課と教育委員会、3階は町議会議場と議会関係諸室および図書室としました。地下室は機械関係室と資料倉庫に充てています。

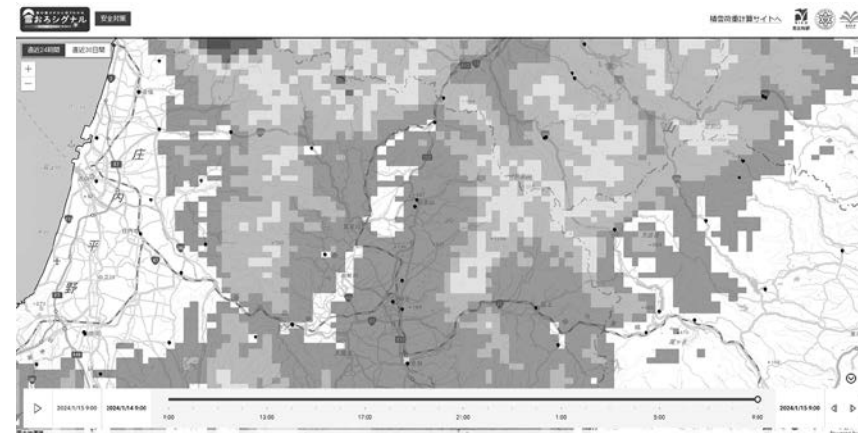
一方、七日町通りに面した正面2、3階を吹き抜けとした多目的の「町民ホール」を設計者として特に提案し、町側から承認されました。それまでは県内同規模の庁舎施設で町民ホールに相当する場は見られなかった

防災

高めよう自助の力



第24回
屋根の雪下ろしは適切なタイミングで。雪おろシグナルを活用しよう！



▲雪おろシグナルイメージ

1,000 -	建物崩壊がみられる積雪重量
700 - 1,000	空き家等が倒壊するリスクがある
500 - 700	雪下ろしの基準となる積雪深1m以上
300 - 500	大雪が予報されている時は注意
100 - 300	設計積雪深を下回る積雪量
0.1 - 100	設計積雪深を下回る積雪量
0 - 0.1	雪なし

詳しくはこちらから▼



防災科学技術研究所では、「雪おろシグナル」をインターネット上で公開しており、積雪量や融ける雪の量などを計算し、屋根に掛かる雪の重さを分析しています。分析したデータは雪下ろしの目安として地図上で色分けされており、雪下ろしのタイミングの参考となりますので、ぜひご活用下さい。(雪下ろしを行った後からの雪の重さも計算が可能です。)



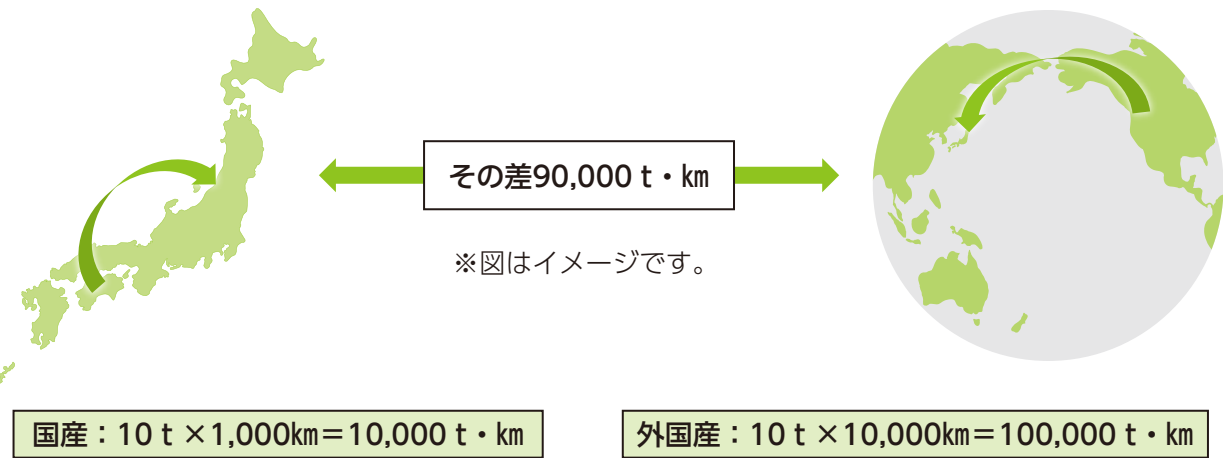
▶2017年3月耐震補強工事中の町役場2階町民ホールを生き生きと上手く活用している事務部局。
3階吹抜け部から見下ろす。

かねやまゼロカーボン通信 vol.8

今日からできるカーボンニュートラルを実践してみましょう！

地産地消でカーボンニュートラル！

日本は食料の約6割を輸入に頼っています。外国から輸入されることにより食料が安価に手に入る一方、たくさんのエネルギーが消費されるため、地球温暖化の原因となっているCO²がたくさん排出されます。地産地消は食料の輸入に関わるCO²の排出削減につながり、環境にやさしい取り組みといえます。食料の輸入についての環境負荷を示す言葉に「フードマイレージ」という言葉があります。フードマイレージとは、「食料の輸送量(t)」と「輸送距離(km)」をかけ合わせた指標のことです。単位はt・km(トン・キロメートル)で表し、輸送量が10tで輸送距離が100kmの場合、1,000t・kmとなります。この数値が高いほど環境に負荷をかけているといえます。



国産は外国産に比べ、輸送距離が短くなることでCO²の排出量が抑えられ環境への負荷が小さいといえます。地元産や県産はさらに環境への負担が小さいことになります。

地産地消は環境面の配慮だけではなく地元の食材を購入することにより地域の生産者の収入につながり、利益を地域に還元することができます。これは食材にかぎらず地元産の材料や製品なども同じことがいえます。ぜひみなさん地産地消に取り組みましょう！

【問合せ】 役場環境整備課 環境下水道係 ☎29-5631 mail : kankyogesui@town.kaneyama.yamagata.jp

広告

ちょうほう屋かわら版

お客様感謝デー(無料プレゼント)※なくなり次第終了

2/15 長ねぎ 3/1 つけもの

電話予約受付中

☎ 0233-52-2501

営業時間 10:00～18:00





乾電池とライターの分別にご協力をお願いします！

乾電池とライターをごみステーションに搬入する際は、1つの袋にまとめて入れずにそれぞれ別の透明な袋に入れてごみステーションに搬入してください。皆様のご協力をお願いいたします。

☎ 29-15631 役場環境整備課 環境下水道係

金山町育英会奨学生募集

対 象 者	町内に住所を有する者の子弟であって、学校教育法に規定する4年制大学、短期大学および専門学校に在学、または進学し、成績優秀(高校の評点：3.5以上)、品行方正な者。										
貸 与 額	①4年制大学 月…4万円 ②短大・専門学校等 月…3万円 ※奨学金は、年4期(4月、7月、10月、1月予定)に分けて送金します。										
貸与期間	在学する大学・短大・専門学校等の最短修業年限の終期まで										
返還の免除	以下の2点のいずれも満たした場合に、貸与した奨学金の半額が返還免除となります ①大学等(大学・大学院・短大・専門学校)卒業後1年以内に金山町に住み、5年間以上継続して居住すること ②公務員以外の職業(勤務地は町外可)に5年間以上継続して就労すること ※令和5年4月入学者分より制度が変更となりました。現在奨学生として大学等に在学中の皆さんは、入学(認定)時の制度が適用されます。										
申込方法	下記の書類を提出して下さい。 ①連帯保証人(保護者含む2名)を付した『奨学生願書』 ②卒業(予定)高等学校長の証明する『奨学生推薦調書』 ③連帯保証人(保護者含む2名)の『納税証明書(全税目)』 ④連帯保証人(保護者含む2名)の『所得証明書』 ⑤大学等の合格通知書(または在学証明書)の写し ※①・②は金山町育英会事務局(中央公民館内)で入手 ※③・④は役場町民税務課窓口で取得 【注意】連帯保証人(保護者以外)は、特別の理由がある場合を除き、本町に住所を有する独立の生計を営む成年の方とします。										
募集期間	前期募集…令和6年2月2日(金)～令和6年2月26日(月) 後期募集…令和6年2月27日(火)～令和6年3月25日(月)										
奨 学 生 の 決 定	奨学生は、書類審査と保護者同伴面接を経て決定します。 【保護者同伴面接実施日時と会場】 <table><tr><th>募集区分</th><th>日 時</th><th>会 場</th></tr><tr><td>前期募集</td><td>令和6年3月3日(日) 15時～16時</td><td rowspan="2">役場2階 町民ホール</td></tr><tr><td>後期募集</td><td>令和6年3月27日(水) 18時30分～19時30分</td></tr></table> ※面接後、奨学金の送金手続き等の説明を行いますので、必ず出席してください。			募集区分	日 時	会 場	前期募集	令和6年3月3日(日) 15時～16時	役場2階 町民ホール	後期募集	令和6年3月27日(水) 18時30分～19時30分
募集区分	日 時	会 場									
前期募集	令和6年3月3日(日) 15時～16時	役場2階 町民ホール									
後期募集	令和6年3月27日(水) 18時30分～19時30分										
提 出 先 問 合 せ 先	金山町育英会事務局(中央公民館・改善センター内) ☎0233-32-0075 受付時間…月～金 8：30～17：00 ※祝日除く										



東京金山会通信 No.58

第65回 記念総会に向けて

2023年12月23日に東京金山会・役員会を開催。次回総会に向けての準備をスタートしました。次回総会は、2024年6月16日(日)アートホテル日暮里ラングウッド(東京・荒川区)での開催を予定しています。

第65回記念総会という節目の開催となることもあり、記念総会としてのイベントなど、過去開催や他のふるさと会での事例も参考にしながら、例年の準備に加えて、検討を進めております。

昨年から感染症対策等の制限の無い開催となったこともあり、参加される方から、より喜んでいただける内容とすること、さらに金山を応援し盛り上げる動きを加速できるような総会となるよう、準備を進めてまいります。

金山の方々にもご協力をいただきながら、より良い総会・懇親会の開催ができるよう取り組んでまいりたく考えております。

本役員会当日は「かねやま市」の2023年最終の開催日、役員会メンバーが一同に会して運営を行ないました。2024年の「かねやま市」も、さらに多くの方に来訪いただき、一層盛り上げていければと思います。



▲役員会の様子(東京金山会事務所)



▲「かねやま市」運営・準備

【問合せ】 東京金山会 広報担当 藤山善夫 ☎080-5525-0435 mail: fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp



◀こちらから東京金山会のページにアクセスできます

森の子ども図書

No.216



こたつし

作：かわまたねね
絵：長谷川義史

私はこたつ牛です。寒くて出なくなったらこたつを担いだ「こたつ牛」になりました。いつでもどこでも、富士山の上でもこたつが楽しめます。ある日、牛の子どもたち三頭が言いました。「なんでお母さんにはこたつがついてるの?」「こたつって良い物なの?」と言うので、おかあさんは「こたつに入っでご覧なさい」と言いましたが、牛四頭がこたつに入るなんて大丈夫かな?

交流サロンポスト

月～金 12時30分～17時30分まで
※12・1・2月は17時閉館
※祝・盆・正月は休み

図書室だより



10代から身につけたい伝える力

池上 彰／PHP研究所

あなたは人に何かを伝えることは得意でしょうか?多くの場合見知らぬ人と話をするのは苦手なはずです。例えば、SNSの普及や新語の誕生等も相まってその溝は深くなっていることでしょう。これはそんな悩みを抱えている皆さんに一歩を踏み出してもらおうための本です!



「失敗図鑑」すごい人ほどダメだった!

大野正人／文響社

トーマス・エジソン、野口英世、孔子、アインシュタイン。有名な人たちが欠点がないように見えます。でも実は彼らは意外とダメな所があったのです。10歳から読める「読めば勇気が湧いてくる」新しい心の教科書。情報網が拡大され、様々な人が活躍している現代に、この本を読んではどうでしょう?

図書コーナー … 金山町中央公民館内 9:00～17:00



／今月は8冊!／

透明になれなかった僕たちのために(佐野徹夜)／夜明けのはざま(町田そのこ)
ランナーのカラダのなか(藤井直人)／歌われなかった海賊へ(逢坂冬馬)・・・他4冊

※()内作者名



金山町
集落支援員

◀ふれあい
スポーツクラブ
公式Instagram



集落支援員 齊藤 珠樹

ヨガ・エアロ教室 大好評! 参加ありがとうございました!

みなさんこんにちは。寒い日が続きますが体調はいかがでしょう。金山町に着任してから10ヶ月が経ちました。いろんな教室で運動を通して皆さんの方々と直接お話しすることができました。ありがとうございます。今回は11、12月の活動をご報告します。

11月、山崎地区と柳原地区からモルック指導の依頼を受けて、みなさんと一緒に大会に向けたゲームを楽しみました。初心者の方にも分かりやすく解説を行いながら、ベテランさんからのサポートもいただきモルックの面白さや楽しさを体験いただきました。

12月、健康福祉課の健康相談会に同行し田茂沢地区と朴山地区のお声を聞いてきました。お家でもできる運動や脳トレ体操を行いながら集落の課題を探るためのアンケート調査にもご協力いただきました。

またイベント教室では11月にエアロビクス、12月にはヨガを行いました。有酸素運動でいい汗を流し、ヨガは筋トレがメインのコンディショニングトレーニングとなりました。今後も運動教室を続けて欲しいとの嬉しいお言葉もいただきました。これから検討したいと思います。



▶朴山地区の老人クラブの皆さん



▶エアロビクスを楽しむ参加者

それぞれの地区のみなさんが月に一度はお茶会を行っているとの事でした。地区のお茶会にも呼んで頂ければお邪魔させていただきます。簡単なストレッチや体操教室も出ますのでお気軽に齊藤、須賀までお声掛け下さい。

今後もみなさんのお悩み事やお困り事などお聞きして、これからの活動に生かし金山町を元気にしたいと思います。



金山杉俳句会報 第四八三回

来る年のお守り札の回覧板
義経の産湯を隠す冬の霧

星川 キエ子

冬至南瓜とろりと甘き辛を食ふ
山眠る落葉の調べ聞きながら

岸 昭子

雪原に影落し往く冬の月
初雪のまだ切株を消し切らず

高橋 洋子

善き会釈交わして入れる募金箱
薬膳に親しむ齢零余子飯

鶴沼 よし子

初時雨今宵は豆腐温くして
新しき唇を掛けて待つ茶の間

阿部 一代

閑一瞬華とさざめく冬花火
枯野今掟の如く吹き荒ぶ

栗田 弥超

かねやま紅風会

軒下に盆栽囲ふ冬構え
年始め南天生ける飾り棚
線香の匂ひ漂う三箇日

荒屋 阿部 勝子

三年や一年用なる日記買ふ
新年も二人三脚夫婦愛
穏やかな小春日よりの年明け

荒屋 関 喜美子

年の瀬や家族絆の蕎麦の味
暖冬か雪道怖さも薄れけり
キリストの産湯を祝ふ聖夜祭

菅越 庄司 けみ子

風にゆわ一つ残せり木守柿
冬晴に群飛ぶ鳥の自由席
不器用な生き方もあり冬の月

七日町 青柳 キエ子

二度の冬夫婦絆の愛深く
二人寝の枕寂しい冬の夜
細る身の妻の足揉む寒の入り

上台 阿部 一步



祝祭日には



を掲げましょう

金山町町制施行100周年記念プレ企画

わたしの願い

金山町町制施行100周年を迎えるにあたり、「わたしの願い」をテーマに町民の方々からご寄稿いただきました。これをきっかけに皆さんも今の自分をみつめ、金山町の未来について考えてみませんか？

変わらない町であってほしい

金山町立金山中学校2年 ^{みかみ}三上 ^{しゅうや}修矢さん



私は、金山町で生まれ今までの14年間、全く不自由なく生活してきました。振り返ってみると、小さな温かい思い出が沢山あります。幼稚園の頃は、友達とずっとうるさくして遊んで、先生に「きかなす！」と言われ、怒られていた気がしますが、それでも毎日楽しく過ごしていました。小学生になると、家に帰ったらすぐ友達の家に向かって走り、近くの山に登ったり、河川敷でドジョウを捕まえたりして遊びました。毎日新しい場所を見つけて、町にカラスの放送が鳴るまで遊び回っていました。中学生の今は、部活動や生徒会の活動が生活の中心になり、仲間との思い出がどんどん増えています。そんな、私たち子供の成長を町の大人は温かく見守り、時には声をかけてくれます。私はそんな金山が大好きです。私の願いは、この町が人も景観も温かいまま変わらないでほしいという事です。金山には楽しく美しい場所があり、温かい人が多いことは、町民一人ひとりが知っているはずですよ。そんな金山が、さらに10年、20年先も、私と同じように金山が好きで大事にしたいと思える町、常に大切な思い出の中心にある町、であってほしいと思います。

金山の美しい未来は私たちから

山形県立新庄南高等学校金山校3年 ^{ながぬま}長沼 ^{せいら}星空さん

金山町に生まれ育ち、この町が大好きなDNAを受け継いでいるなと実感します。好きなところを三つ挙げるなら、美しい自然、綺麗な街並み、人の優しさです。春は桜並木、夏は金山まつり、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々楽しめ、金山住宅が並ぶ街並みも大堰公園の鯉も私は好きです。現在私は「美杉コーラス」で定期的に歌の練習に参加しており、練習後の交流も楽しい一時です。その陰には、私のような高校生を温かく迎え入れて下さるメンバーの方々の優しさがあります。私が通う金山校も、小規模校だからこそその良さがたくさんあり、その一つが町との連携です。金山校を大事に思っ下さり、多くの支援を頂きながら、私は成長することが出来ました。今度は恩返しをする番です。卒業後は地元で美容師のアシスタントとして働く予定です。お客様を美しくし、心から満足して頂けるような仕事をしたいと考えています。町制施行百周年を迎えるにあたり、美しいこの町が末永く続くことを願っています。そのためにも、私たち若い世代がこの町に誇りを持ち続け、人とつながり、居心地の良い空間を創っていくことが大切です。私も、微力ながら町の魅力を発信しながら、町の発展に貢献していきたいです。



▲Instagramの
フォローはこちら

▼金山町公式Instagramでは金山町の魅力やイベント情報などを発信しています。また、2月29日(木)まで「フォト&イラストコンテスト2024」を開催しており、入賞者には景品が贈呈されます。興味のある方はぜひInstagramをチェックしてみてください。

編集
後記
▼冬は寒暖差によって疲労や倦怠感を感じやすくなります。室内・室外に関わらず体や手足を冷やさない服装や、体の中から温まる事が出来るネギや生姜入りの鍋が効果的だそうですね。一緒に寒い冬を乗りこえましょう！

金山町の人口は、4,848人 (12月末現在)

男性	2,403人 (2)
女性	2,445人 (-11)
世帯数	1,712世帯

▼12月の異動
出生 1人
死亡 7人
転入 9人
転出 12人